

<報道関係者各位>

2025年12月23日

## モルテン、モータースポーツの実戦環境で部品を検証

— 村上モータース MAZDA ロードスターに提供、スーパー耐久 ST5R クラス制覇 —



株式会社モルテン（本社：広島市西区、代表取締役社長：民秋清史、以下、モルテン）は、10月25～26日に岡山国際サーキットで開催された ENEOS スーパー耐久シリーズ 2025 Empowered by BRIDGESTONE 第6戦「SUPER TAIKYU in OKAYAMA」において、ST5R クラスで優勝し、あわせてシリーズチャンピオンを獲得した 88 号車 村上モータース MAZDA ロードスターに、『エンジンマウント強化用ラバーシート』および『スタビライザーブッシュ』を提供しました。

『エンジンマウント強化用ラバーシート』は、エンジンと車体フレームを締結するエンジンマウント部に装着され、エンジンの動きを抑制することで、コーナリング時の安定性や変速時の操作性向上に寄与します。また、車体後方の左右のサスペンションをつなぐスタビライザーバーと車体フレームの固定部に使用される『スタビライザーブッシュ』は、コーナリング時の車両安定性を高めます。

スーパー耐久シリーズは、長時間走行や天候変化など、車両および各部品に高い信頼性と安定性が求められるカテゴリーです。村上モータース MAZDA ロードスターには、モルテンが開発・提供するこれら 2 種類の部品が採用され、過酷な耐久レース環境下で使用されています。

モルテンは、モータースポーツを広告的な取り組みではなく、実使用条件に近い負荷が継続的にかかる「技術検証の場」と位置づけています。スーパー耐久シリーズでは、長時間走行や路面・気象条件の変化といった、量産車開発にも通じる厳しい環境下で部品が使用されます。

こうした実戦環境で得られる挙動データや使用実績は、部品の耐久性・信頼性評価や設計検討に活用され、製品仕様の最適化や品質向上へとフィードバックされています。

モルテンは“Fun and Functional”をブランドステートメントに、モータースポーツの実戦環境で培った技術と知見を自動車部品事業の製品開発・品質向上に生かし、今後も価値ある機能部品の提供を目指していきます。

## ■ モルテン 自動車部品事業について

クルマの楽しさと機能性を追究し、お客様の要求を形にする―“Fun and Functional”を約束事として掲げ、音、振動、流れを制御する技術を軸に開発を進め、ゴム・樹脂を主材料とする製品を供給しています。現在は日本、アメリカ、メキシコ、タイ、中国、ベトナムに拠点を置き、広くグローバル市場に最適な条件で自動車を動かす基本性能に欠かせない製品を提供し続けています。

モルテン 自動車部品事業 公式サイト：[https://www.molten.co.jp/automotive\\_parts/jp/](https://www.molten.co.jp/automotive_parts/jp/)

## ■ 株式会社モルテン 会社概要

競技用ボールと自動車部品の製造・販売に始まり、内部の空気圧を調整する「中空体技術」と、ゴム・樹脂などの高分子素材を扱う「高分子化学」の2つのコア技術を活用して事業を拡大してきました。現在では、競技用ボールをはじめとするスポーツ用品事業や自動車部品事業のほか、医療・福祉機器事業では、製品開発と学術研究の両面から社会貢献を担い、マリノア産業用品事業では、浮桟橋や橋梁用ゴム支 承のほか社会基盤を構成する要素を製造・販売するなど、様々な分野で可能性を追究し続けています。

所 在 地：広島県広島市西区観音新町四丁目 10-97-21

設 立：1958年11月1日

代 表 者：代表取締役社長 最高経営責任者 民秋清史

資 本 金：3 億 1,614 万円

従 業 員：：674 人（単体）、3,100 人（海外を含むグループ全体）（2025 年 9 月時点）

社名由来：molten とは melt の過去分詞で、“溶解する、鑄造する”という意味に加えて、“古いものから新しいものに脱皮する”という意味を持っています。

U R L：<https://www.molten.co.jp/>

### お問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

E-MAIL: [molten\\_pr@molten.co.jp](mailto:molten_pr@molten.co.jp)